



(久保岡議員)

Q 高齢者の生きがい対策について問う。

A 情報と場の提供で支援していきたい。

(清代健康課長)



A 老人会の加入者は町全体でみるとほぼ横ばい状態だが、組織率は高齢者人口の増加に伴って下がっているのが現状である。町からの補助金は一定の削減をしているが、会の工夫により事業が運営されている。定年後に働く人の増加や個人の価値観の多様化などにより、新規加入者数は減少しているが、町としては情報と出合いの場の提供等を行いながら会の活動を支援していきたい。

Q 高齢者が増えているにもかかわらず老人会の組織率は下がっている。一説には予算が年々削減され続け、十分な活動ができず魅力的な老人会になっていないという意見も聞いている。厳しい財政状況ではあるが、町としての方策はあるか。

(久保岡議員)

Q 南県営跡地へグランドゴルフ場の設備を。

A 特定の使用目的のための整備は困難である。

(平町民生部長)

Q 3世代交流広場の構想については、非常に良い案だと思うが、年々高齢者が増えている状態において、高齢者の健康維持が重要と考える。必要以上の医療費の増大を防ぐ意味からも、高齢者が利用しやすい公園化を計ることが必要と考える。さしあたって、高齢者に人気のあるグランドゴルフの練習場も兼ねられる、緑豊かな公園化を求める地元老人会の意見も聞いている。このような公園にした場合、管理・設備等の面も出てくるが、今後の町の計画はどうか。

A 「くまの・みらい21」は、全国的に問題となっている少子高齢化対策のための子育て支援拠点として位置付け、①安心して子育てができる町、②地域全体で子育てを支援する町、③子どもが主体的にのびのびと成長できる町の実現をめざして整備されるものである。この中の「多世代ふれあい公園」は地域住民の誰もが楽しく自由に一定の秩序を持って利用する場所としており、利用に当たっての特定の目的に対する許可は考えていない。